課題 231

無線環境管理のための無線環境評価手法の研究開発

無線を用いた複数の製造システムを管理・運用可能な管理システムを研究開発し、無線普及促進と管理コストの削減を実現

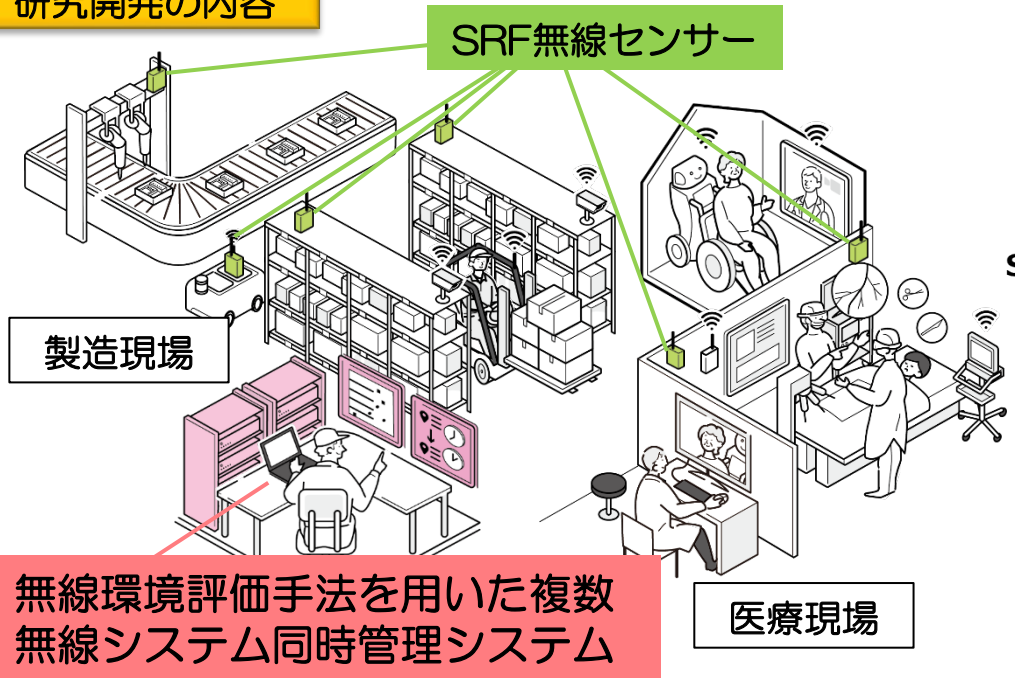
背景と課題

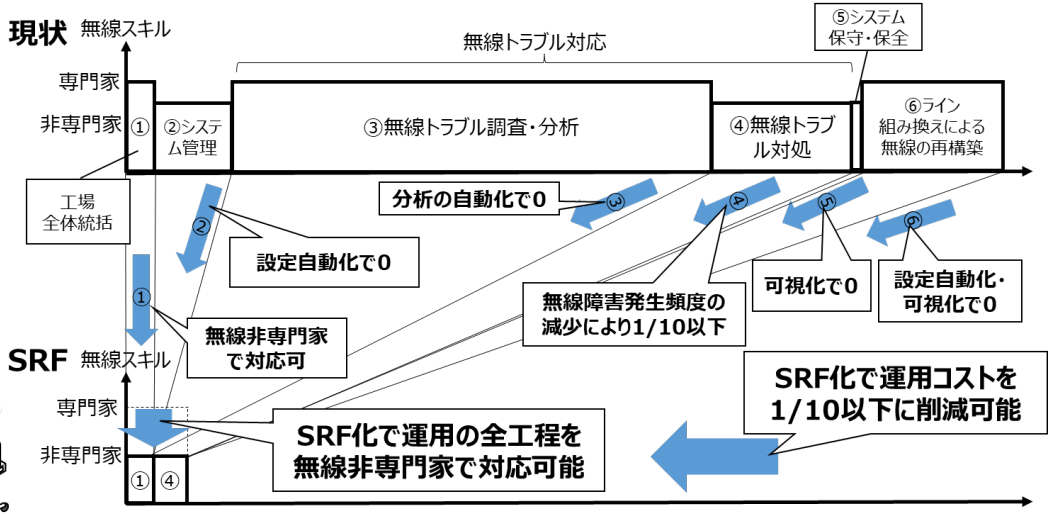
コロナ禍を経て、製造・ロジスティクス・医療・教育など様々な分野における無線通信利用のニーズは急速に高まっており、その管理の難しさが問題になっている。

研究開発の目的

本研究課題では、無線を用いた複数のシステムの管理・運用を同時に行える無線管理システムを研究開発することで、製造や医療現場をはじめとする様々な分野のシステムへの無線通信技術の利用促進と、導入された現場での無線を用いたシステムの管理のコストを削減し、生産性向上に貢献することを目的とする。

研究開発の内容





①SRFの自動化・可視化により無線非専門家で対応可、②SRFにより無線確認・設定を自動的に実施、 ③SRFによりデータの収集・分析は自動的に実施、④SRFにより無線通信が安定化し無線障害発生頻度減少、 ⑤SRFにより無線状態を可視化、⑥SRFにより無線確認・設定を自動的に実施、無線状態を可視化

Smart Resource Flow (SRF)無線センサーを本研究開発によりシステム実装することで①、⑤のコスト削減に貢献

研究開発期間：2023年度（契約締結日）～2025年度末
研究開発予算：2023年度 80百万円、2024, 2025年度 各年度100百万円（上限）、採択件数：1件